

講義科目名称： 応用栄養学実習 I

授業コード： 51203600 51203610

英文科目名称： Practice in Applied Nutrition I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	1	必修
担当教員			
黒川 浩美			
月3、4			
添付ファイル			

科目の概要	管理栄養士は食事記録を通して栄養量を把握する専門家であり、食べた分量を正確に記録する能力が求められる。それと同時に身体所見・身体計測・臨床検査・食生活調査などの方法を用いて対象者の栄養状態を的確に評価するための能力も求められる。本科目ではその基礎段階として、食事調査により自分自身の食生活を把握する。そして総合的に現在の自分の栄養状態を把握し栄養ケアプログラムへつなげるという、栄養マネジメントの一連の流れを学ぶ。また、栄養ケア対象者との接し方など、セルフトレーニングを行う
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、栄養アセスメントについて（講義室） 栄養アセスメントの指標および内容についての復讐</p> <p>第2回 栄養ケア・栄養プログラムの計画（講義室） 栄養基準量の算出</p> <p>第3回 食品重量の把握（PC室） FFQ実施 食品重量を把握し、3日間の食事内容を記録する</p> <p>第4回 ライフステージ別の食品摂取量の把握（PC室） 食品重量から、対象者に合わせた適量を求める</p> <p>第5回 ライフステージ別の栄養成分表の作成（PC室） 対象者に合わせた食品重量から、栄養成分を求める</p> <p>第6回 食事日記の分析（PC室） 3日間の食事記録を分析する</p> <p>第7回 食品構成表の作成（PC室） クラスの食事記録から、食品構成表を作成する</p> <p>第8回 ライフステージ別 献立作成（PC室） ライフステージ別成分表、構成表を使用</p> <p>第9回 食習慣調査（PC室） 食物摂取頻度調査の実施、分析</p> <p>第10回 解決策の計画と提案（PC室） 食物摂取頻度調査分結果から、フィードバック用紙の作成</p> <p>第11回 医療面接（栄養指導）マナー、導入のトレーニング セルフトレーニングプログラム（CBT OSCE）を用い、医療面接（栄養指導）時に必要なスキルに対するトレーニング</p> <p>第12回 栄養アセスメント、栄養ケア・栄養プログラムの計画の確認（小テスト） 小テストの内容については、事前に説明を行う。</p>
学習到達目標	<p>栄養アセスメントを習得し、結果を総合的に評価できるようになる。</p> <p>食事量を正確に把握し、正しく計算する基礎的スキルを習得する。</p> <p>栄養ケアにつなげる基礎として、自分の栄養状態を把握できるようになる。</p> <p>PCを使用し、栄養計算、エクセルの基本的作業について習得する。</p>
授業の方法	講義形式、パソコンを利用した個別栄養管理、プログラムを使用したトレーニング
成績評価の方法	<p>授業の積極的な態度 20%</p> <p>小テスト 20%</p> <p>課題提出点 60%</p>
教科書・テキスト	<p>配布プリント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品成分表 医歯薬出版 編 ・スタディ応用栄養学（建帛社） 東條仁美 編著 ・日本人の食事摂取基準（2020年版）
参考書	実習中に適宜紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	栄養ケア・マネジメントの流れを復習しておくこと
履修上の留意事項	電卓を持参すること。配布プリントは毎回持参すること。提出課題が多いので、終わらなければ仕上げて必ず提出すること。
オフィスアワー	水～金 15：00-17：00
実務経験	管理栄養士

その他	授業場所が、講義室、コンピューター室であるため、事前に確認しておくこと。 (予定の授業場所が変わる可能性がある)
-----	---